

第五十二回帝國議會 院 王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地ノ家ヲ去外一件委員會議錄(筆記)第一回

委員會成立

本委員ハ昭和二年三月十二日(土曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

菅原 英伍君 西脇 晋君
江藤 榮吉君 杉 宜陳君
渡邊 祐策君 菅原 傳君
原 夫次郎君 神村 吉郎君
武藤 嘉門君
同月十六日(水曜日)午前十時四十分委員長理事互選ノ爲委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

西脇 晋君 江藤 榮吉君
山下 谷次君 菅原 傳君
原 夫次郎君 神村 吉郎君
武藤 嘉門君
同月十五日委員杉宜陳君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日山下谷次君ヲ議長ニ於テ選定セリ

年長者菅原傳君投票管理者ト爲ル

○菅原投票管理者ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○原委員ハ投票ヲ用キス武藤嘉門君ヲ委員長ニ、菅原英伍君、神村吉郎君ヲ理事ニ推薦スヘシトノ意見ヲ提出ス

○菅原投票管理者ハ原君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ武藤嘉門君ハ委員長ニ、菅原英伍君、神村吉郎君ハ理事ニ當選シ

タル旨ヲ宣告ス

〔武藤嘉門君委員長席ニ著ク〕

○武藤委員長ハ引續キ會議ヲ開クヘキ旨ヲ宣告ス

〔以下速記〕

會議

昭和二年三月十六日(水曜日)午前十時四十五分開議
出席委員左ノ如シ
委員長 武藤 嘉門君

理事 神村 吉郎君
西脇 晋君 江藤 榮吉君
山下 谷次君 菅原 傳君
原 夫次郎君

出席國務大臣左ノ如シ
司法大臣 江木 翼君
出席政府委員左ノ如シ
司法省民事局長 池田寅二郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者ノ戶籍等ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

不動産登記法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
○武藤委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス

○菅原委員 一應本案提出ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○武藤委員長 ソレデハ最初ニ政府ノ本案提出ノ理由ヲ説明願ヒタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○江木國務大臣 法律案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲタイト思ヒマス、韓國併合ニ關スル條約及其當時渙發致サレマシタル詔勅ニ於キマシテ、朝鮮ノ王公族ハ待ツニ皇族ノ禮ヲ以テス、且ツ之ニ關スル特別ノ軌範ヲ制定スルト云フコトガ當時定メラレタリマス、是ハ明治四十三年幹國併合當時ノコトデアリマス、此條約並詔書ニ依リマシテ昨年御協贊ヲ經マシテ、大正十五年十一月三十日ニ法律第八十三號ヲ以テマシテ、王公族ノ權義ニ關スル法律ガ公布セラレタリマス、此法律第八十三號ニ基キマシテ、皇室令ヲ以テマシテ、王公家軌範ナルモノガ制定セラレタリマス、而シテ此王公家軌範ハ昨年十二月二十一日ヨリ施行セラルルニ至ッタデアリマス、此王公家軌範ノ内容ヲ見マスルト、皇室典範、皇族身位令、皇室財產令、皇室親族令等ニ倣ヒマシテ、王族公族ノ系襲、襲系ノ如

付託議案

王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者ノ戶籍等ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)
不動産登記法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

キ、身位、財產、親族ノ事等ニ關スル規定ガ設ケラレタリマス、其結果ト致シマシテモ自ラ王公族ヨリ内地ノ家ニ歸ラレ、又ハ内地ノ家籍ニアル者ガ其家ヲ去ッテ王公家ニ入ルト云フコトガアリマシテ、此場合ニ於ケル所ノ入籍、除籍、復籍、一家創立、廢絶家再興等ニ關シマスル規定ヲ設ケルノ必要ガ生ジタリマス、是ハ恰モ皇室典範、皇族身位令、皇族親族令等ニ依リマスル身分上ノ變更ニ關シマシテ明治四十三年法律第三十九號ヲ以テマシテ、左様ナ場合ニ關スル規定ヲ設ケラレマシタト其趣旨ヲ同ジウスルモノデアリマシテ、本案ハ大體明治四十三年法律第三十九號ニ倣ヒマシテ其規定ヲ設ケタモノデゴザイマス、而シテ王公家軌範ニ依ル王公家ト内地ノ家ト交渉ヲ生ズル場合ヲ見マスノニ、第一王公族ガ即チ王家公家ニ在リタル者ガ養子縁組又ハ婚姻ニ困リテ内地ノ普通ノ家ニ入リマシタル場合、右ハ本案第五條ノ規定スル所デアリマシテ、其入リタル内地ノ家ノ戶主ヨリ入籍ノ旨ヲ市町村長ニ届出ヅルコトトシタリマス、第二ハ内地ノ家ニ在ル所ノ女子ガ結婚ニ因リテ王家又ハ公家ニ入リタル場合、右ハ本案第五條ノ規定スル所デア

アリマシテ、其去リタル内地ノ家ノ戸主ヨリ除籍ノ旨ヲ市町村長ニ届出ヅルコト、シテアルノデアリマス、第三ハ縁組又ハ婚姻ニ因リ内地ノ家ニ入りマシタ所ノ王公族ガ、離縁又ハ離婚ニ因リマシテ内地ノ家ヲ——其入ツタ所ノ家ヨリ去リマスル場合、右ハ本案第一條ニ規定スル所デアリマシテ、此場合ニハ王公家ニ復スルコトヲ得ナイノデアリマスガ故ニ、其直系尊屬ノ創立シタル所ノ家ガアル時ニハ其家ニ入り、其家ガナイ時ニハ一家ヲ創立スルト云フコトニ致シタルデアリマス、第四ハ婚姻ニ因リテ内地ノ家ヲ去リ王公家ニ入りタル者ヲ、離婚其他ノ原因ニ由リ内地ノ家ニ復スル場合、復籍スベキ實家ナキ場合デアリマス、右ハ本案第二條、第三條、第四條ニ規定スル所デアリマシテ、實家復籍ノ場合ニハ復籍ノ旨、復籍スベキ實家ナクシテ一家ヲ創立シタル場合ニハ一家創立ノ旨、又廢絶シタル實家ヲ再興セントスル場合ニハ實家再興ノ旨、何レモ市町村長ニ届出ヅルコトトシタルデアリマス、第五ハ王公ガ薨去セラレテ其家ニ襲系者ガナク、襲系ノ順序ニ在ル者ガ内地ニアリマスル場合、右ハ本案第六條ニ規定スル所デアリマス、襲系者、其配偶者及其長子孫ノ系統ニ在ル者、内地ノ家ヲ去リテ王公家ニ入りマシテ襲系ヲ致シマスルガ故ニ、宮内大臣ヨリ除籍ノ旨ヲ市町村長ニ通知スベキコト、シタ

イノデアリマス、若シ其者ガ戸主デアル場合ニハ、内地ノ家ノ家督相續ヲ開始スルコトトシタルデアリマス、是ガ王公族ヨリ内地ノ家ニ入りタル者及内地ノ家ヲ去リテ王公家ニ入りタル者ノ戸籍等ニ關スル法律案ノ内容ノ概要デゴザイマス、次ニ不動産登記法中改正法律案ハ、王公家軌範ニ基キマシテ、世襲財産ガ設定セラルト云フ場合ニナリマシテ、右世襲財産處分又ハ執行ノ目的ト爲スコトガ出来ナイモノデアリマスルガ故ニ、其設定又ハ解除ノ場合、不動産ニ付テハ其登記ヲ爲スノ必要ガアル、仍テ是ト性質ヲ同ウ致シマスル皇族ノ遺留財産ニ關スル登記手續ニ準ジタル規定ヲ設ケルコトヲ適當ト致シマシテ、不動産登記法ノ規定ヲ補足致スコトニ致シタルデアリマス、ドウカ宜シク御審議ヲ願ヒマス

○武藤委員長 御質問ハ通告順ニ依ルコト、致シタイト思ヒマスガ、原サン宜シウゴザイマス

○原委員 宜シウゴザイマス、私ハ先ヅ戸籍ニ關スル法律ノ方カラ御尋ネ致シタイノデスガ、先ヅ根本ニ於テ此法律案ノ内容ニ付テハ固ヨリ論議スルノ餘地ハナイノデアリス、吾々ハ昨年既ニ王公家ノ權義ニ關スル法律ニ依テ、勅令ニ委任ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、其勅令ノ結果、勅令即チ王公家軌範ノ結果ニ依テ此法律ヲ編ミ出サレタト云フコトニ付テ、毫モ異論ガナイ、又

洵ニ尤モナ法律ノ趣旨デアルト云フコトハ諒承致スノデアリマス、而シテ此本案ノ法律ニ似寄ッタウナ法律ガ明治四十二年デスカ、三年デスカニ御發布ニ相成ツテ居ル、皇族ノ入籍、除籍ニ關スル法律ガアリマスカラ、大體ソレニ則ツタモノデアルト云フコトモ對照シテ明ニナツテ居ルノデアリマス、所ガ此法律ハ先程モ司法大臣ガ御述ニナツタ如ク、王公家ニ於テハ養子制度ヲ除外セラレテアルノデアリマスカラ、本法ノ第一條ノ規定モ當然起ツタモノト諒承致スノデアリマス、所デ先ヅ第一番ニ本法ト曩ニ制定ニ相成ツテ居ル其通法規トノ關係如何ト、斯ウ云フコトヲ先ヅ承ツテ置キタイノデアリマス、此本法案ハ各植民地トノ關係ガアルト當然想像ガ出来ルノデアリマシテ、其見地カラ共通法規トノ關係如何、斯ウ云フコトヲ一ツ承ツテ置キタイノデアリマス

○江木國務大臣 是ハ申上ゲマスルマデモナク、此法律ハ公布ニナリマスレバ、法律ノ内容ヨリ當然朝鮮ニ施行サルモノデアリマス、隨ヒマシテ此法律ソレ自身ガ一種ノ二ツノ異ナリタル法域ニ施行サレル結果ニナリマスルガ故ニ、其意味ニ於キマシテハ此法律ガ一種ノ共通ノ法規ヲ規定シテ居ルモノト申シテ宜カラウト思フノデアリマス、而シテ前ニ制定サレマシタル所ノ大正七年ノ共通法ナルモノハ、是ハ

普通ノ家ト——此民事關係ニ於キマシテハ、普通ノ臣籍ニ在ル者ノ家ト内地ノ普通ノ家ニ在ル者トノ入籍復籍上ノ關係ヲ規定シタモノデアリマスガ、此法律案ノ目的ト致シテ居リマスル所ハ、王公家ト特別ノ關係ニ在リマスル所ノ者ト内地ノ家トノ關係デアリマスルガ故ニ、其點ニ於キマシテハ一種ノ特別ノ法規ヲ成シテ居ルモノト、斯ウ御覽ニナリマシテ宜カラウカト思ヒマス、即チ王公家ト内地ノ家トノ關係ニ於キマシテハ、此法規ノミガ自然適用セラル、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマス、其意味ニ於キマシテ全ク共通法規ノ適用ト云フモノハ、其關係ニ於テハ適用ガナイ、斯ウ見テ宜イモノダト思ヒマス、隨ヒマシテ其點ハ實質ニ於テ非常ニ異ツテ來テ居ルノデアリマス、ドウカ大體ハ左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○原委員 サウスルト此點ヲ尙ホ明確ニ致シテ置キタイノデアリマスガ、要スルニ曩ニ御公布ニ相成ツテ居ル其共通法ヲ除外致シテ、本法案ハ全ク別個ノモノデアアル、共通法トハ何等ノ交渉ナク、何等ノ衝突ナク、詰リ共通法外ノ本法デアアル、斯ウ云フコトニ了解シテ宜シイノデアリマス

○江木國務大臣 左様デゴザイマス、詰リ此案ハ王族公族ト云フ今迄共通法ニハ目的ニナツテ居ナイ特別ノ御家デス、即チ今回メテ王公家軌範ナルモ

ノガ出來テ、所謂李王家率循ノ途ガ出來タ其家ト他ノ家トノ關係、内地ニ於ケル所ノ家トノ關係デアリマシテ、今迄ハ法律上ニハ出來得ナカッタ家ノ關係ガ今度始メテ規定サルノデアリマスカラ、其點ニ於キマシテハ共通法トハ全然關係ガ無イ、而シテ本案ノ第一條ガ或ル意味ニ於テノ共通的法規トナル、斯ウ云フ譯デアリマス

○原委員 私共此第一條ヲ見マシテ、ソレト其王公家軌範トヲ對照シテ見ルト云フト、養子縁組又ハ婚嫁ニ因ッテ内地ノ家ニ入リタル王公族ガ、離縁又ハ離婚ノ場合ニ於テハ其直系ノ尊屬ガ王公家ヲ離レテ、一般臣民籍ニ入ラレタル場合、斯ウ云フ場合ヲ豫想スルト云フト、是ハ其王公家ト云フモノヲ離レテ一般ノ臣民籍ニ入ラレタモノデアアル、原則ト致シテハ普通一般ノ臣民ト同様ニ何等ノ差別ハ、コデ無クナル、原則トシテ此民法ヲ適用シナケレバナラヌト云フ關係ニ在ルヤウニ思フノデアリマスガ、其本ヲ質セバ其出所ハ王公族デアッタニ相違ナイケレドモ、其身分ヲ既ニ拋棄致シテ、一般臣籍ニ降ラレタ以上ハ、ドウシテモ是ハ内地ニ於テハ民法ノ支配ニ屬シ、又植民地ニ於テハソレト特別ナル民法ノ除外例ガ設ケテアルトスルナラバ、其特別ナル法律ニ支配セラルベキモノデアアル、サウスルト玆ニ共通法規ノ適用ヲ受ケナケレバナラヌモノデアアルト思フノデ

リマスガ、其點ハ如何デアリマセウカ

○江木國務大臣 細カイ事ハ政府委員カラ説明ヲ致サスコトニ致シタイト思ヒマス、一應大要ダケ申シマス、王公家ヲ出ラレテ、内地ノ家ニ養子ニ入ラレタ、若クハ婚嫁ニ因ッテ嫁ガレタト云フ場合ニハ全ク臣籍ニ入ラレタ者デアリマスガ故ニ、一般民法ノ支配ヲ受ケテ宜イノデアリマセウガ、併ナガラ其王公族タリシ者ガ離縁又ハ離婚ニ因リマシテ内地ノ家ニ入ッタ、其家ヲ去ラルルト云フ場合ニ付キマシテ、普通ノ民法ノ支配ニ依リマスレバ本ノ家ニ復歸スル、離縁ノ場合ニ於キマシテハ其出タ所ノ王公家、婚姻ノ場合ニ於キマシテハ其出タル所ノ王公家ニ復歸スルト云フノガ普通ノ原則デアリマス、然ルニ王公家軌範ニ依リマシテ一旦王公家ヲ離レタル所ノ者ハ、再ビ其王公家ニ入ルコトガ出來ナイ、一旦臣籍ニ降ッタ者ハ再ビ王公家ニ入ッテ王公家、即チ皇族ト同ジ禮遇ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フヤウニ定メラレテアリマスガ故ニ、ドウシテモ何トカ規定ヲ設ケナケレバナラヌノデアリマス、其規定ハ今日迄ノ規定ニハ缺如致シテ居ルノデアリマスコデドウシテモ別個ノ一條ト云フモノヲ必要トスルノデアリマス、此點ガ即チ一種ノ共通的法規ニナッテ居ル所以デアリマス、後ノ條項ハ多ク復籍、入籍等ノ手續ニ關スル條項デアリ

マスガ、此一條ノミハ一種ノ實體ヲ定メタ法規トナッテ居ルノデアリマス、即チ左様ナ場合ニ於テハ從來自分ガ出テ、其家ヲ離レテ内地ノ家ニ入ッタ、而シテ復籍セントスル家ガナイ、王公家ハアリマスケレドモ、其王公家ニ入ルコトガ出來ナイ王公家軌範ノ規定ニナツテ居リマスガ故ニ、ドウシテモ別ニ家ヲ造ラナケレバナラヌ、ソコデ王公家ノ軌範ニ依テソレノ直系尊屬ガ臣籍ニ降ッテ一家ヲ創立シテ居リマス場合ニハ其家ニ入ル、サウ云フ家ガナイ場合ニ於テハ再ビ王公家ニ復歸スル譯ニ行キマセヌカラ、一家ヲ創立スル、是ハ從來定メラレテ居リマス共通法ニモ其規定ヲ求ムルコトガ出來ズ、又朝鮮ノ民法關係ノ法規ニモ其規定ガ缺如致シテ居リマス、隨テドウシテモ玆ニ王公家軌範ガ出來マシタ機會ニ於キマシテ、此規定ヲ新ニ設クルノ必要ガ生ジタノデアリマス、大體其趣旨ヲ申上ゲテ置キマスレバ、御趣意ニ適フカト思フノデアリマス

○原委員 ドウモ其御説明デハ能ク分リマセヌガ、先ヅ具體的ニ其場合ヲ分ケテ一ツ御説明ヲ願ヒタイ、普通一般ノ民法ノ規定カラ申スト云フト、離婚又ハ離縁ノ場合ニ於テハ原則トシテ實家ニ復歸スル、若シ實家ガナカッタ場合ニ於テハ一家ヲ創立スル、是ガ民法ノ親族編ノ原則デアリマス、所デ王公家ノ方ガ内地ニ入ラレタル場合、縁組トカ或ハ婚

姻等ニ因ッテ入ラレタル場合、ソレハ因ヨリ普通一般ノ家ニ入ラレタル場合、其方ガ離縁トカ離婚トカ爲スッタ場合ニハ三通リニナリハセヌカト思フノデアリマス、先ヅ第一ニ其方ノ直系尊屬ノ家ガアル場合ニドウスルカ、ソレカラ第二ニハ直系尊屬ノ家ハナクシテ、既ニ其直系尊屬ガ王公家軌範ニ依テ一般ノ臣民トナラレタル家ガアル場合、第三ニハサウ云フ家ガナイ場合、斯ウ云フ三通リノ場合ヲ想像セザルヲ得ナイノデアリマス、其三通リノ場合ノ中デ第一ノ直系尊屬ノ家ガアル場合ニ於テハ、是ハ王公家軌範ニ依テ復籍スルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、此第一條ニハ當然是ハ規定シテナイ、第二ノ直系尊屬ガ王公家ニアラザル一家ガ創立シテアルト云フ場合ニ於テハ矢張普通民法ノ觀念ヲ御採用ニナッテ其一般臣籍ノ家ニ御入リニナル、斯ウ云フ規定ニナッテ居ル、ソレガ若シナイト云フ場合ニ於テハ矢張普通民法ノ規定ニ從テ一家ヲ創立スル、斯ウ云フコトニナッテ居ル、サウスルト結局普通民法ト異ナル所ハ第一ノ場合、即チ王公家ノ實家ノ直系尊屬ガ儼然トシテ存在スル場合ニ於テハ、其王公家ノ方ヘ直ニ復歸スルト云フコトハ出來ナイ、是ハ民法ノ觀念トハ異ッタ點デアッテ、其第一條ニ規定シテ居ルコトハ是ハ全ク民法ノ規定ノ趣意ヲ矢張酌シテ、一般臣家ノ家ガ創立シテアルナラバ其實家ガア

ルノデアアルカラ、其處へ御歸リニナル、若シソレガナカタナラバ一家ヲ創立シナケレバナラス、斯ウ云フ規定ニ相成ツテ居ルノデアリマス、サウスルト此觀念ト云フモノハ全ク是ハ民法ノ觀念ト同一ノ觀念デアッテ、而シテ又是ハ一般共通法ノ支配ヲ受ケナケレバナラス問題デナイカト思フノデアリマス、其點ハ如何デゴザイマセウカ

○江木國務大臣 王公家ニ關シマス事柄ニ付キマシテハ、從來ノ共通法ニハ固ヨリ其對象トシテ居ラスノデアリマス、從來ノ共通法ノ規定致シテ居リマス所ハ普通ノ家ダケノ規定デアアル、所ガ今度王公家軌範ナルモノガ出來マシテ、王公家ヲ出テ内地ノ家ニ養子ニ入ラレル、若クハ婚嫁ニ因ッテ内地ノ家ニ入ラレル場合ガ出來テ來タ、而シテソレガ離縁又ハ離婚ニナッタト云フ場合ニハ、一體何處ヘ入ラルベキカ、若シ王公家軌範等ガナカリセバ、普通ノ民法ノ考カラ云ヘバ、ドウナルカト言ヘバ、直系尊屬ノ有無ニ拘ラス當然王公家ニ入ラレルト云フ考モ起ルカモ知レヌノデス、併ナガラ此王公家軌範ニ依リマシテ一旦臣籍ニ降ッタ者ハ、再ビ王公家入ルコトハ出來ヌ、此規定ガアリマスルガ故ニ、ドウシテモ別個ノ規定ヲ必要トスル、即チ王公家軌範ニ依テ、其離縁又ハ離婚ニナッタ人ノ直系尊屬ガ、別ニ一家ヲ創立シテ居ル場合ニハ其家ニ入ルシ王公家ハ儼然トシテ存シテ居ッテ、

普通ナラバ王公家ニ入ルベキ人デアリマシテモ、其離縁離婚ニナッタ人ノ直系尊屬ガ別ニ一家ヲ創立シテ居ル場合ニハ其家ニ入ルシ、其家ガ無イ場合ニハ一家ヲ創立スル、是ハ詰リ王公家ト云フモノカラ出テ臣籍ニ入ラレタト云フ特別ノ關係デアリマスルガ故ニ、ドウシテモ其普通ノ民法ノ規定ダケニハ據ルコトハ出來ナイノデアリマス、普通ノ民法ノ規定ニ依ル、即チ共通法規ニ依テ之ヲ律スル場合ニ於キマシテハ、離縁離婚ノ場合ニ於テハ當然王公家ニ入ッテ來ル、其出タ家ニ這入ッテ來ル、斯ウ云フノガ、其出タ家ガ無イ場合ニ於テハ一家ヲ創立スル、斯ウ云フ場合ニナルノデアリマセウガ、其規定ノ適用ガ出來タノデアリマス、デアリマスルカラ、ドウシテモ茲ニ特別法規ヲ設ケテ一般臣籍ニナッタ者ガアル場合ニハ其家ニ入り、サウデナイ場合ニハ一家ヲ創立スルト云フ新シキ規定ヲ必要トスル譯ナンデアリマス

○原委員 段々分ッテ參ッタノデスガ、私ノ間ハントスル所ハ、元ハ王公家ノ出デ王公族デアッテモ、内地ノ家ニ入ラレ、其内地ノ家ガ一般臣籍ノ者ノ家デアアル、斯ウ云フコトデアアルナラバ、其内地ノ家ハ是ハ固ヨリ民法ノ支配ヲ受ケナケレバナラスト云フコトハ御承認ニナリマスカデウデスカ

○江木國務大臣 固ヨリ内地ノ入ッタ所ノ家ハ、普通ノ民法ノ適用ヲ受クル

家ナンデアリマス

○原委員 サウスルト此方ガ一般臣籍ニ降ラレタ方デアッテ、當然民法ノ支配ヲ受ケル身分ニ御成リニナッテ居ル方デアッテ、其方ガ離婚又ハ離縁ト云フ場合ニ、一面ニ王公家軌範ナルモノガ制定セラレテアッテ、復籍スルコトハ出來ナイト云フ儼平タル法律ガ出テ居ルサウスルト其王公族ノ家ニ入ルコトガ出來ナイト云フコトハ當然ナ事デアルノデスカラ、ソレヲ今度飛越シテ新ニ朝鮮ナラ朝鮮ゲ一般臣籍ニ降ッテ、或ハ實家ガ創立シテアルト云フコトデアルナラバ、其實家ニ御入りニナルト云フコトハ、復歸セラレルト云フコトハ其一般臣籍——朝鮮ゲ一般臣籍ノ家デアアル、内地デハ一般臣籍ノ家カラ離婚離縁セラレルノデアアル、朝鮮デハ矢張臣籍ノ家ニ御入りニナルノデアアル、サウスルト其間ニ於テ一般民法ノ適用ガ出來ナイト云フコトハ、ドウ云フコトデアリマセウカ

○江木國務大臣 内地ノ家ニ入ラレテ、臣籍ニ入ラレタ以上ハ固ヨリ内地ノ民法ノ適用ヲ受ケラルル人トナルコトハ申スマデモナイノデアリマスルガ、其人ノ身分ハ元王公族タリシ人ナラデアル、ソコデ離縁離婚ト云フ問題ガ起ル、離縁離婚ガ起レバ元ノ家ニ復歸スルト云フノガ原則デアアル、所ガ其家ハ王公家デアアル、王公家軌範ニ依テ一旦臣籍ニ這入ッタ者ハ歸ルコトハ出

來ナイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマスルガ故ニ、普通ノ民法ノ適用ヲ以テハイカナイ、普通ノ民法ノ適用ヲ以テ致シマスレバ、其出タル家ニ復歸スルト云フコトニナルノガ普通ノ關係デアリマスルガ故ニ、何カ規定ヲ設ケナケレバドウシテモ缺如シテ居ル、元ノ自分ガ王公族デアリシト云フ關係ニ於キマシテ、規定ノ缺如ガアルト思フノデアリマス、ソコデ一般臣民トナッタ所ノ直系尊屬ガ一家ヲ創立シテ居リマス場合ニ於キマシテハ、其家ニ入ル、サウデナイ場合ニハ一家ヲ創立スル、此規定ハ王公族タリシ者ガ離縁又ハ離婚ニ依リマシテ、其身分ヲ定メマスル上ニ於キマシテナクテハナラス規定デアルト、斯様ニ思ッテ居リマス

○原委員 洵ニ御尤モナ御答辯デアアルノデスガ、併シ私ノ間ハントスル新ノ事柄ハ其實質ヲ云フノデハナクシテ、主トシテ其形式ニ關スル法律ノ立方ヲ御尋ネシテ居ルノデアリマス、王公家軌範ト云フ法律ト同様ナル勅令ニ依ッテ、既ニ此内地ノ家ニ入ッタ方ノ離縁又ハ離婚ノ場合ニ於テハ、復歸スルコトハ出來ナイゾト云フ法律ガモウ出來テ居ルノデス、其法律ガ出來テ居ルノデアアルカラシテ、民法ト此法律トガ互ニ適用ヲ爭フ場合ニ於テハ、ドウシテモ此王公家軌範ノ方ガ特別法デアアルカラ、此特別法ニ依ッテ一般法ヲ除外シテ參ル、サウスルト其朝鮮ノ王公家ノ直系

尊屬ノ家ガアツタ場合ニ於テハ、其所ヘ御歸リニナルコトハ出來ナイゾト云フコトハ、モウチャント法律デ分ツテ居ルサウスルト云フト其家ヘ歸ヘラルルコトガ出來ナイト云フナラバ、矢張民法ノ一般ノ、此取除ケノ場合ヲ除イテ、一般ノ民法ノ規定カラ申スト云フト、其直系尊屬ノ方ガ他ニ臣民籍ニ一家ヲ御創立ニナツテ居ルナラバ、其所ヘ當然御歸リニナル是ハモウ民法ノ當然ノ支配ヲ受ケルノデアル、特別法ト一般法トノ適用ハ茲ニ明ニナツテ居ルト思フノデアリマス、其觀念ニ付テ司法大臣ノ御意見ハ如何デアリマセウカ

○江木國務大臣 同ジコトヲ繰返シヤウニナルノデアリマスガ、王公家軌範ニ依リマシテ、一旦臣籍ニ入ッタ者ハ王公家ニ復歸スルコトハ出來ナイ、ソコデ其後ニ離縁、離婚ニ依テ復歸ト云フヤウナ場合ガ起ル時ニハ、王公家ニ復歸スルコトハ出來ナイ隨ツテ普通ノ民法ノ支配ヲ受ケテ來ルデハナイカト仰シヤイマスガ、ソレハ何カ規定ガナケレバサウハナラヌノデアリマス、民法ニハ離縁離婚ノ場合ニ於テハ實家ニ復歸スルト云フノガ原則ナノデアリマス、其原則ニ對シテ王公家軌範ニ在ッテハ、一旦臣籍ニ下ッタ者ハ王公家ニ復歸ハ出來ナイト云フコトハ規定シテ居リマスガ、殊ニ離縁離婚ノ場合ニ於テ臣籍ニ下ッタ者ガ復歸セントスル場合ニ於テハ直系尊屬ノ家ニ歸ル、若クハ新

ニ一家ヲ創立スルト云フヤウナ規定ハナイノデアリマス、ソレハ王公家軌範ガ規定シテモ宜イノカモ知レマセヌガ、只今デハ其規定ガアリマセヌ故ニ、ドウシテモ民法ノ原則ヲ直グ其儘適用ハ出來マセヌ、故ニ一個ノ特別法規ヲ必要トスル、斯様ニ考ヘタノデアリマス

○原委員 王公家軌範ノ第二十四條ニ「王公族ハ養子ヲ爲スコトヲ得ズ」二十六條ニ「王族又ハ公族ニシテ其ノ身位ヲ失ヒタル者ハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外王族又ハ公族ニ復スルコトヲ得ズ」、斯ウアルノデアアツテ、王公家軌範ニ依テ既ニ定メテアル以上ハ、法律ト法律トガ衝突スルコトハ他ニモ例ガアル、其場合ニハ法律ノ原則ニ從テ特別法ハ一般法ヲ除外スルト云フ理論カラ、當然他ノ一般法ヲ適用スル場合ニ於テハ特別法ニ讓ルノデアリマス、サウスルト特別法デハ王公族ニナルコトガ出來ナイノデアアル、復歸ガ出來ナイノデアアルカラ、當然特別規定ヲ設ケナクテモ、兩法律ニ依テ明ニナツテ居ルコトト思フノデアリマス

○江木國務大臣 是ハ尙ホ民法トノ關係モアリマスノデ、政府委員ヨリ詳シク説明ヲ致サセマス

○池田政府委員 只今大臣ヨリ説明セラレマシタ通りデ、別ニ御問ニ對シテ満足ナ御答ハ出來兼ルノデアリマスガ、唯、原委員ノ御參考マデニ、是ト全

ク同ジ關係ニアリマスル明治四十三年ノ法律第三十九號ノコトヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、即チ是モ「華族ノ養子トナリタル皇族男子離縁ノ場合又ハ華族ニ嫁シタル皇女子離婚ノ場合ニ於テ直系尊屬ノ臣籍ニ入り創立シタル家アルトキハ其家ニ入り其ノ家ナキトキハ一家ヲ創立ス」斯ンナ規定ニナツテ居リマス、即チ皇族方ニ付キマシテハ、所謂家ト云フモノハ無イノデアリマス、其點ハ問題ニナリマセヌガ、養子トナラレ、若クハ華族ニ嫁サレマシタル皇族ノ直系尊屬ガ、臣籍ニ入ッテ創立セラレタル家ガアリマスレバ、即チ此ニ於キマシテ其婚嫁若クハ養子縁組ト云フモノガ離縁離婚トナリマシタ場合ニ、其皇族ヲ何レノ戸籍ニ復セシムルカト云フコトハ、是ハ問題ニナルノデアリマシテ、民法デ參リマスレバ實家復籍、實家ガナケレバ一家創立ト云フコトハ只今原委員ノ仰セラレタ通りデアリマス、ソコデ斯ウ云フ法律ヲ設ケマセヌデ民法ヲ適用スルコトニナリマスレバ、無論實家復籍ト云フコトニナリマス、即チ臣籍ニ入ッテ創立セラタル家ト云フノガ是ハ全ク別ノ家デアリマスカラ、ソレヲ民法ノ實家ト見ルコトハ是ハムヅカシイト思ヒマス、サウスレバ一家創立ト云フコトニナリマスガ、ソレデハ穩デアアルマイ、ソレヨリモ既ニ其直系尊屬ガ一家ヲ創立シタイト云ヘバ、其家ヲ民法ノ實家ノヤウナ取扱ヲ

致シマシテ、ソレニ戻スト云フコトガ最モ適當ナル處理ノ方法デアラウト云フコトカラ、即チ今言ヒマシタ四十三

年ノ法律第三十九號ト云フモノハ設ケラレテ居ルコトト思ヒマス、即チソレト同ジヤウナ關係デアリマシテ、朝鮮ノ王公族ガ内地ノ家ニ婚嫁又養子デ入ッテ居ラレル、既ニ一旦養子縁組、若クハ婚姻デ以テ内地ノ家ニ入ラレマシタハ是ハ全ク民法ノ規定ニ從フト云フコトモ亦原委員ノ仰ノ通りデアリマス、ソコデ民法ノ規定ニ依リマシテ、是ガ離婚ニナリ若クハ離縁ニナツタト云フ場合ニ、民法ノ規定ニ依リマスレバ、實家ニ復籍シ、實家ガナケレバ一家ヲ創立スルト云フコトハ勿論民法ニ示シテアリマス、然ルニ只今原委員ノ御引ニナリマシタ即チ王公家軌範ニ依リマシテ、一旦臣籍ニ降ラレタル者ハ、再ビ王公族ニナルコトガ出來ナイト云フ規定ガアリマスカラ、例ヘバ内地ノ家ニ養子縁組若クハ婚嫁ニ因ッテ入ラレタル王公族ガ、民法ノ規定ニ依テ離縁、離婚ヲ爲シテ實家ニ復籍サレルト云フ場合ニ、實家ニ入ラレルト云フコトハ王公家軌範ノ規定ニ依テ出來ナイコトトナツテ居ルノデアリマス、併ナガラ斯ル場合尊屬親ガ一般臣民ニ降ッテ一家ヲ創立シテ居ル場合ハ、ソレヲ恰モ實家ト同様ニ認メテ其家ニ復籍サセルコトニスル方ガ妥當デアラウト云フ所カ

ラ、四十三年ノ法律第三十九號ノ法規ニ則リ此規定ヲ爲シタ次第デアリマス、ソレデ是ハ全ク朝鮮ノ家ト内地ノ家トノ間ノ關係ヲ此一本ノ法律デ規定スル譯デアリマスカラ、恰モ共通法以上ノ規定ト申シマス、内地ノ家ニ在リマシタ者ガ、此規定ニ依リマシテ、直接ニ朝鮮ニ於テ創立セラレタル家ニ入ルト云フコトヲ定メタ次第デアリマス、ソレカラ一般ノ關係ニ於キマシテハ、原委員ノ御議論ノ通りニ、例ヘバ朝鮮ノ一般ノ臣民、内地ノ一般ノ臣民トノ家籍ノ異動ニ關シマシテハ、民法並朝鮮ニ於テハ制令ニソレノ規定ガアリマシテ、之ヲ調和スル爲ニ茲ニ共通法ノ規定ガアルノデアリマス、即チ内地ノ者ガ朝鮮ノ者ノ家ニ嫁ニ入ルト云フ場合ハ朝鮮ノ法律ニ依テ、嫁ハ夫ノ家ニ入ルトニナツテ居ル、又民法ノ規定ニ依リマシテモ、妻ハ夫ノ家ニ入ルト云フコトニナツテ居リマス、而シテ民法ハ内地ノ關係ヲ定メテ居リ、制令ハ朝鮮ノ家ノ關係ヲ定メテ居リマス、ソコデ此共通法ヲ設ケタ譯デ、即チ一方ノ家、即チ朝鮮ノ法令ニ依テ朝鮮ノ家ニ入ッタル者ハ、内地ノ家ヲ去リ内地ノ戸籍ヲ除クト云フコトヲ共通法ノ三條ニ依テ定メテ居ル次第デアリマス、併シ茲ニ第一條デ規定セントスルモノハ兩方ニ規定ガアル事柄デアリマセヌデ、全ク別デアリマス、デアリマスカラ朝鮮ノ家ト内地ノ家トノ關係ヲ、此一

本ノ法律デ始末ヲ付ケルト云フノデ茲ニ書キマシタ次第デアリマス
○原委員 サウスルト第一條ノ規定ト云フモノハ戸籍等ニ關スル規定ニ非ズシテ、實體的規定デアルカラ、サウ云フ規定ハ王公家軌範、即チ議會ガ王公ノ權義ニ關スル法律ニ依テ委任ヲ致シテアル、其勅令ニ依テ當時是等ノ事ヲ規定シナケレバナラヌニ拘ラズ、王公軌範ニ於テハサウ云フ實體ニ關スル規定ヲ爲サズシテ、斯ウ云フ戸籍ニ屬スル、即チ王公家軌範ニ依テ實際ノ戸籍ヲ取扱フト云フ施行規則ノヤウナモノデ、斯ウ云フ實體ノ規定ヲ爲スト云フノハ一體ドウ云フ譯デアリマス、ソレヲ伺ツテ置キマス
○江木國務大臣 昨年御協賛ヲ經マシタ法律八十三號ニハ王族、公族ノ權義ニ關スルコトハ皇室令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトガ出來ル、ソレカラモウ一ツハ王族公族ト一般臣民ニ互ル事項デアツテ、各適用スベキ法規ヲ異ニスル時ハ、是亦皇室令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトガ出來ル、斯様ニ法律デ委任ニナツテ居ルノデアリマス、委任ニナツテ居ル事項ハ王族、公族ノ權義ト云フコトト王族又ハ公族ト一般臣民ニ互ル事項トデアツテ、適用スベキ法律ヲ異ニスルト云フ此二ツノ場合ナンデアリマス、所ガ此第一條ガ極メテ居リマス事項ハ、成程養子縁組又ハ婚嫁ニ依テ内地ノ家ニ入ッタルハ王族、公族タ

リシ所ノ身分ヲ一時ハ持ツテ居ッタルデアリマスガ、既ニ王公族ノ家ヲ離レテ純然タル臣籍ノ家ニ入ッタルデアリマス、王公族デハ無論ナイノデアリマス、デアリマスカラ昨年ノ法律ノ結果ト致シマシテ、此王公族ヲ離レ、全ク關係ノ無イ立場ニ立ッタル所ノ人ノ事柄ヲ、王公家軌範ヲ以テ規定スルト云フコトハ委任ニ反スルノデアリマス、委任ノ範圍外ニナルノデアリマス、王公家軌範其他皇室令ヲ以テ之ヲ規定スルコトハ、ドウシテモ出來ナイノデアリマス、是ニ於キマシテ其王公家ヲ離レテ一般臣籍ニ入リマシタ者ガ、離縁離婚ニ會ッタ場合ノ始末ヲ付ケルニハ、ドウシテモ法律ノ規定ヲ必要トスル譯デ、茲ニ新ニ法律ヲ設ケントスル次第デアリマス
○原委員 本日ハ此程度ニテ——私ハマダ御伺シタイコトガアリマスガ、大分廣汎ニ涉ルノデゴザイマシテ、本日ハ此程度デ一ツ止メテ置イテ戴キタイト思ヒマス、如何デスカ
「異議ナシ」ノ聲起ル
○武藤委員長 ソレデハ會議ハ是デ散會シマス
午前十一時五十分散會